

## 海外語学研修

《担当者名》 教授 / Howard Tarnoff 准教授 / 鎌田 禎子 教授 / 塚越 博史  
講師 / 松本 由紀子 准教授 / 足利 俊彦 講師 / 白鳥 亜矢子

### 【概要】

国際化社会と言われる現代社会の中では英語をコミュニケーションの手段として活用する能力が強く求められている。本学でも英語の指導に関してはコミュニケーションに通じる英語教育を重視している。言うまでもなく、英語を学習している者が実際に英語圏に出かけて英語の訓練をすることには計り知れないほどの価値がある。この科目は英語圏の大学で英語の授業を受け、教室の外で実際に使用し、さらに、英語圏の文化をも直接に体験するための講座である。

同研修を選択する者は、本学の長期休業中にカナダの指定大学で約3週間の研修講座に参加する。この科目を選択して所期の目標を達成した者は、第3学年に開講される医療英語基礎、アカデミック・イングリッシュのいずれかと振り替えてその単位が認定される。

### 【学修目標】

- 現地の人と英語でコミュニケーションを図る。
- 文化の違いを説明する。
- 日本の文化を英語で説明する。

### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	事前研修 (本学での講義及びセミナー)	(1) コース・オリエンテーション。国際化社会と異文化の理解(講義) (2) 訪問国研究[歴史、地理、政治、経済](セミナー) (3) 訪問国の教育と研修先大学(講義及びセミナー) (4) 英語コミュニケーションの実践方法(グループイングと演習)	Howard Tarnoff 塚越 博史 足利 俊彦 鎌田 禎子 松本 由紀子 白鳥 亜矢子
2	現地研修	(1) 語学研修(午前、週4日。聴く・話す訓練を中心に) (2) 特別プログラム(午後、病院見学、学部訪問等) (3) 自然体験旅行 (4) 史跡訪問等 (5) その他(交流会、送別会等)	Howard Tarnoff 塚越 博史 足利 俊彦 鎌田 禎子 松本 由紀子 白鳥 亜矢子 から2~3名
3	事後研修	(1) 研修報告 (2) レポートの作成と提出 (3) 研修報告書の作成	Howard Tarnoff 塚越 博史 足利 俊彦 鎌田 禎子 松本 由紀子 白鳥 亜矢子

### 【評価方法】

- (1) 事前研修、現地での研修、事後研修での出席と参加態度：10%
- (2) 現地での小テスト及び最終テスト：80%
- (3) 提出レポート：10%

合格した者は医療英語基礎、アカデミック・イングリッシュのいずれかと振り替えてその単位が認定される。

### 【学修の準備】

現地での研修を有意義なものとするために、そして、トラブルが起こってしまった際にはそれを最小限にとどめるために、事前研修からしっかりとした動機を持って参加する。

現地では“異なる文化・習慣”を理解するために、そして受け入れるために、「(文化の)違いは良し悪しとか、どちらかが正しい正しくないということではない」ことを常に念頭に。違いを楽しむくらいの気持ちが必要である。

### 【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1.人々のライフステージにおける疾患の予防、診断および治療を実践するための基本的な医学、歯科医学、福祉の知識および歯科保健、歯科医療技術を修得する。

DP2 . 「患者中心の医療」を提供するために必要な高い倫理観、豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につける。

DP3 . 疾患の予防、診断および治療の新たなニーズに対応できるよう生涯にわたって自己研鑽し、継続して自己の専門領域を発展させる能力を身につける。

DP4 . 歯科医療の専門家として、地域的、国際的視野で活躍できる能力を身につける。

DP5 . チーム医療（保健と医療と福祉）において協調し建設的に行動できる態度と能力を身につける。